

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・すすんで作品づくりに取り組む児童が多く、つくることを楽しんでいる。新しいことに挑戦する際の意欲が高く、特に高学年では技術を向上させようという意欲が高まっている。
- ・材料や技法からのびのびと発想できる児童が増えた。
- ・技能を確実に習得できるよう継続的に指導したことで、技能の定着と応用については、学年が上がるにつれて向上している。

(2) 課題

- ・段階ごとの見本やICT機器を使用し、個別の支援も含めて、全ての児童にとって分かりやすい授業を行う。
- ・積極的に取り組む児童がほとんどだが、集中ができない児童により、取り組み方に差がある。
- ・技能の定着・応用について、向上が見られているが、継続して指導をしていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・低学年が使いやすい材料や用具に触れ、扱い方を知るとともに、自分なりの工夫をして表すことを繰り返す。 ・支援が必要な児童には個別に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考え方や表現に自信をもつことができるように友達の作品を見て興味を示し、自分が作りたい作品への思考・表現へとつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発想・構想を広げることができるように、授業の導入を工夫し、作りだす喜びを感じられるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな材料や用具に触れ、扱い方を知るとともに、自分なりに工夫して表すことを繰り返す。 ・わかりやすい全体指導を心がけた上で、支援が必要な児童には個別に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方・表現に肯定感をもつように指導する。 ・発想しやすいように活動の流れを板書し、見本を掲示することで作品つくりの向上・思考がもてるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発想・構想を広げることができるように、授業の導入を工夫し、作りだす喜びを感じられるようにする。 ・立体作品に興味・関心が高いので、積極的に授業の中に取り入れる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・さまざまな材料や用具に触れ、扱い方を知るとともに工夫して表すことを繰り返す。・作品をよりよくするためにはどうしたらいいのか試行する時間と材料を十分に用意する。	<ul style="list-style-type: none">・課題の作品の見本を掲示し、イメージの概要をとらえさせる。・作品への意欲をもたせ、高学年に適した内容を自ら進んで作りあげられるようにするために自分の考え方・表現に肯定感をもつように指導する。	<ul style="list-style-type: none">・材料を選び、自らよりよい作品を作ろうとする意欲をより高めるため、できていること、挑戦できたことを称賛し、自信をもたせられるようにする。